



5月 ちとせだより

幼保連携型認定こども園
神戸YMCAちとせ幼稚園

今年度も2ヶ月目に入りました。4月当初は、様々な環境の変化に慣れようと毎日がんばって過ごしている子どもたちは多く、楽しそうに見えても本当は、心も身体も使って、神経も張り巡らしながら懸命に過ごしているものです。少しずつそのような生活に慣れ始め、気持ちに余裕が出てくる反面、4月いっぱいがんばってきた反動がやってくる人が多い5月でもあります。

「今まで元気に通っていたのに、なんで急に泣き出すの!？」と幼稚園に行くことを嫌がる子もいるかもしれません。そのような子どもたちの変化に戸惑う保護者もよく見かけますが、それも子どもたちにとっては当然のことだと、どっしり構えて子どもたちのありのままの姿を受け止めて欲しいと思います。

子どもたちにとって、幼稚園での生活は楽しいことを見つける喜びもあれば、自分の思い通りにならないことに気付くこともあります。気心知れた仲間ばかりがそこにいるわけではありません。一人ひとりの興味や関心、気持ちなども今まで育った環境や持って生まれた性格によっても様々です。その違いをどのように捉えて過ごしていくのかは、今後生きていく中でとても重要なことです。幼稚園では、「一人ひとりを大切に」という保育をしているからこそ、自分だけではない、自分と違った価値観や感性を持っている人も大切にしていかなければなりません。違いがあるからこそ、自分に足りない部分を助けてくれたり、補ってくれる周りの存在が欠かせないものとなるのです。助け合い、補い合い、力を合わせていくことでより豊かに生きていくことができます。しかし、その違いを否定し、自己本位の主張を押し通すと、それはいずれ争いや分裂が生じることとなります。自分はこうだから正しい、それと違う相手は間違い、と様々な違いに出会った時に善悪だけでしか判断ができない子どもたちになって欲しくはありません。もちろん、まだまだ幼い子どもたちにとっては、時にけんかになることも多々ありますが、どちらが正しい、どちらが間違いという対応ではなく、けんかに至ったお互いの気持ちをきちんと表出することを大切に、自分の気持ちや相手の気持ちにも触れる機会を大事にしていきたいと思います。

春から夏に向けて気温もどんどん高くなっていく時期です。神様が与えてくれた季節や自然を身体いっぱいを感じながら、毎日を豊かに歩んで欲しいと願っています。

【年主題】

『つながって』～今、わたしを生きる～

【年主題聖句】

主がすべての災いを遠ざけてあなたを見守り
あなたの魂を見守ってくださるように。あなたの出で立つのも帰るのも
主が見守ってくださるように。今も、そしてとこしえに。

(詩編 121 編 7～8 節)

5月主題 「感じる」

聖句 「子どもたちをわたしのところに來させなさい」
(マルコによる福音書 10 章 13～16 節)